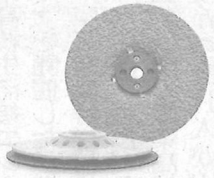
ニューレジストン―ブルーセラック　オフセットタイプ

セラミック砥粒で高い研削力

ニューレジストンの「ブルーセラック　オフセットタイプ」＝写真＝は、セラミック砥粒を配合した研削用ディスク。特徴のあるセラミック砥粒を用いた研磨紙をオフセット形状に加工したことで、ベタ使いを可能にし、高い研削力をより長く持続する。外径サイズは100㍉。狭あい部などの作業には、ミニシリーズに外径58㍉、75㍉の「ミニブルーセラック」もラインアップ。

三角形状のセラミック砥粒を採用し、エッジの効いた高い研削力を実現している。同社が実施したユーザーアンケートによると、約86％が研削力を評価したセラミック砥粒は研削時に、鋭い刃先を保ちながら非常に細かく摩耗していくため、高い研削力が長時間にわたって持続する。

ディスクの性能を引き出すには、パットの仕様も重要だ。ブルーセラックは、セラミック砥粒の性能を最大限に引き出すため、独自のパワーブレード設計を備えた専用パットを開発。クッション性のあるパワーブレードが研削圧を最適に調整することで、ワークへの当たりが柔らかく、滑らかな研削感触が得られる。研削時の砥粒目潰れ防止にもつながり、高い耐久性で長寿命化を実現。ディスク、パット、フランジはワンタッチ式の一体型構造で、芯ブレや変形によるトラブルも防ぐ。



主な仕様は次の通り▽外径＝100㍉▽ねじ径＝M10▽粒度＝36▽最高使用回転数＝毎分1万5000回▽内装10枚入